

平成 24 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 第 1 回幹事会要旨

日 時：平成 24 年 8 月 20 日（月曜日）午後 1 時から午後 3 時まで

場 所：高知共済会館 4 階会議室（高知市本町 5 丁目 3 - 2 0）

出席者：別紙名簿のとおり（2 名欠席）

1 開会

事務局より幹事の紹介を行った。

平成 24 年度の県民会議総会開催日をもって、全幹事の任期が満了したが、全員に再委嘱をし、その後、幹事 1 名が交替したことを報告した。

また、当日の出席幹事は 10 名中 8 名であり、本日の幹事会が成立していることを報告した。

2 幹事長・副幹事長の選任

幹事長 田村幹事（高知県林業振興・環境部長）

副幹事長 内田幹事（県民部会部会長）

〃〃 大川幹事（株式会社四国電力高知支店副支店長）

を選任した。

3 報告事項

(1) 県民会議について

県民会議の会員数について報告（H24.8.20 現在、257 団体、前年度比 6 団体増、5 月の総会以降 5 団体増）

(2) 各部会からの報告

ア 県民部会について

(ア) 全体スケジュールについて

平成 24 年度県民部会年間スケジュール表のとおり

(イ) 部会の開催状況について（5 回開催を予定）

5 月 21 日に第 1 回、6 月 26 日に第 2 回の部会を開催した。

(ウ) ワーキングの開催状況について

a 交通エコポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」ワーキング

4 月 24 日に第 1 回ワーキングを開催した。

県民部会事務局より交通エコポイントの運用状況、平成 23 年度事業の決算報告、平成 24 年度事業進捗状況報告を行った。

また、寄付金募集リーフレットの内容検討も実施した。

b 電気自動車急速充電器普及検討ワーキング

4 月 26 日に第 1 回、5 月 25 日に第 2 回のワーキングを開催した。

第 1 回は高速道路サービスエリアへの急速充電サービス事業実験実施案の検討、第 2 回は、これまでの活動経過等の情報共有を行った。

次回の開催は NEXCO 西日本の検討結果を待って開催予定。

- c コツコツ削減プロジェクトワーキング
7月29日に第1回ワーキングを開催した。
平成23年度に「コツコツ削減プロジェクト」で募集した寄付金の報告と、平成24年度事業の検討を実施した。
 - d 夏の節電キャンペーンワーキング
6月20日に第1回ワーキング、6月30日に「節電キャンペーン」を開催した。
ワーキングで、今夏の節電を県民に広く呼び掛けるため「節電キャンペーン」を開催することを決定し、キャンペーンで使用するノベルティグッズ、配布チラシの検討を行った。
また、6月30日に県内量販店店頭で、地球温暖化防止活動推進員、事務局、県新エネルギー推進課職員がチラシ、オリジナル節電ウチワ（1,700枚）を配布して広く県民に節電を呼び掛けた。
- (エ) 事業の実施状況・今後の取組
- a 子どもにもつけられる環境家計簿推進事業
平成24年度は5校での出前授業開催を目標として掲げている。
7月に2小学校での出前授業を開催した。
 - b 家庭のエネルギー・資源使用料データ調査事業
5月17日に第1回事業検討会を開催した。
本年度は100世帯を目標に、家庭でのエネルギー使用量調査を実施し、特に10代のいる世帯とそれ以外の世帯とでエネルギー使用量に着目した調査を行うことを決定した。
 - c レジ袋削減の取組推進事業
8月16日に県内の量販店に呼びかけ第1回ワーキングを開催した。
平成24年度も10月、11月の2カ月間、「男も（女も）持つぞ!マイバッグキャンペーン」を開催し、参加呼びかけ対象を県民議会議員、事業者に加えて県民（2名以上のグループ単位）に拡大することと、店舗間で利用者がレジ袋を断った回数を競うインナーコンテストを新たに実施することを決定した。

○幹事よりの意見等

- 幹事 レジ袋削減で実施するインナーコンテストとはどういうものか
- 事務局 昨年までは参加者同士でレジ袋を断った回数で競っていたが、量販店同士が店舗ごとに利用者が断った回数を競うコンテストをインナーコンテストとして新たに開催することにした。
- 幹事 電気自動車急速充電器普及検討ワーキングの説明でNEXCO西日本の検討結果を待っているとの説明があったが、どういうことか。
- 事務局 NEXCO西日本が社として独自に高知自動車道への設置について

て検討しているということなので、その結果を待っている。

幹 事 電気自動車急速充電器普及に関して 600 万円の寄付を受けていると聞いているが、県民部会が受けているのか。

事務局 NPO 法人が用途を具体的に高知自動車道の立川・馬立パーキングへの設置費用に限定した形で受けている。

イ 事業者部会について

(ア) 全体スケジュールについて

平成 24 年度事業者部会年間スケジュール表のとおり

(イ) 部会の開催状況について（3 回以上開催予定）

6 月 25 日に第 1 回部会を開催した。

今夏の節電対策について、四国電力、高知県新エネルギー推進課より説明を受けた後、部会員が今夏の節電対策について発表を行った。

(ウ) ワーキングの開催状況について

高知商工会議所環境委員会として 5 月 23 日に開催した。

(エ) 事業の実施状況・今後の取組

a 事業者部会の地域ブロック会議の開催

6 月 21 日に高知市で開催し 38 名が参加した。

b おらんくのストップ温暖化宣言事業者推進事業

環境経営に取り組む事業者を宣言事業者として広く募集している。新たに 2 社が応募し、計 30 社が宣言を実施している。

c エコアクション 21 推進事業

6 月 21 日に高知市で、エコアクション 21 セミナー 初級編を開催し、38 名が参加した。（地域ブロック会と併催）

エコアクション 21 認証登録事業者は現在 122 社、建設業以外の業種への受審拡大が課題となっている。

エコアクション 21 審査人養成支援を行い、現在、1 名が審査人受験申込の準備をしている段階である。

d 省エネルギーアドバイザー派遣事業

5 月に商工会議所会報へチラシを同封し、広く利用を呼び掛けた結果、16 社から派遣申込があり、現在、順次派遣を行っている。

今後は、派遣による省エネ効果等を調査し、HP やチラシ等の媒体での啓発に活用することを検討している。

e 省エネ機器導入促進事業

ホームページで、事業者の省エネ機器導入に関する補助金融資制度等の情報提供を行った。

f エコ通勤ウィーク参加促進事業

本年度は 11 月 12 日（月）から 11 月 18 日（日）迄、開催を予定しており、9 月から募集チラシの配布を行い、募集を開始する。

○幹事よりの意見等

幹 事 おらんくのストップ温暖化宣言では何を宣言をするのか

事務局 参加する事業者ができることを何でもいいから宣言してもらおうという趣旨でやっている。不要な照明を消すとという取組1つだけという場合もあるし、多岐にわたる取組を宣言する場合もあるが、特に決めていない。

幹 事 省エネアドバイザーは資格要件があるのか。

事務局 資格要件はないが、アドバイスの内容は多岐にわたっているの
で、豊富な経験を持つ者でないと対応できない。
室外機を炎天下に設置しているというような事から、事業者ごとの電気の受電形態まで考慮して具体的なアドバイスを行っている。

ウ 行政部会

(ア) 全体スケジュールについて

平成24年度行政部会年間スケジュール表のとおり

(イ) 部会の開催状況について（3回開催予定）

6月6日に第1回部会を開催した。本年度の取組内容についての協議のほか、今夏の節電促進に向けた取組強化の要請を行った。

第2回は9～11月に、第3回は2月上旬に開催を予定している。

(ウ) ワーキングの開催について

昨年に引き続いて「実行計画策定ワーキング」を開催するとともに、「電気自動車ワーキング」を新たに立ち上げ、電気自動車の普及等に向けた検討を行う。

(エ) 事業の実施状況・今後の取組

a 地方公共団体実行計画の策定推進

地球温暖化対策推進に関する法律に基づき、市町村が策定する地方公共団体地球温暖化対策実行計画の策定支援を行う。

・事務事業編

未策定市町村を対象にブロック別説明会を開催する。

・区域・施策編

市町村に対して、環境省主催の区域施策編策定ワークショップへの参加呼びかけを行う。

ワークショップに参加できない市町村に代わって行政部会事務局が参加し、その内容を伝達する形で区域施策編策定ワーキングを開催する。

- b 環境マネジメントシステムの導入及びグリーン購入の推進
本年度も市町村における環境マネジメントシステムの導入状況、グリーン購入基本方針策定状況の調査を実施した。
- c 地球温暖化防止活動推進員の養成と活用
県内3ヵ所で開催した地域ブロック会において、市町村担当者と地球温暖化防止活動推進員の意見交換を行った。
- d 県民への地球温暖化防止の啓発
 - ・節電・省エネへの対策
今夏の厳しい電力需給を踏まえ、県や市町村の広報誌等で節電の呼びかけを行った。
また、県、市町村自らも節電取組への強化を図った。
 - ・レジ袋削減キャンペーンの広報および参加
県民部会で10月、11月に開催する「マイバッグキャンペーン」への参加呼びかけを市町村広報誌を通じて行うとともに、県・市町村もキャンペーンへの参加協力を行う。
 - ・電気自動車の普及
電気自動車ワーキングで普及等に向けた検討を行う。
- e エコ通勤、エコドライブの促進
 - ・エコ通勤
県民会議の統一的な取り組みである「高知エコ通勤ウィーク」への参加を部会を通じて市町村に呼び掛ける。
 - ・エコドライブの促進
公共交通機関の脆弱な地域を抱えている市町村も多いことから、本年度より「エコドライブの促進」にも取り組むこととした。
行政部会を通じ、市町村に対して県が実施している「エコドライブ教習会」への参加を呼び掛ける。
- f その他
現時点では具体的な取り組みはないが、部会員である市町村から提案があれば検討する。

○幹事よりの意見等

幹 事 グリーン購入基本方針を未策定の市町村の策定しない理由について知りたい。グリーン購入はすでに実践しているから基本方針等までは必要ないということだろうか。

事務局 市町村ごとの策定状況については配布資料を確認いただきたい。策定出来ない理由は市町村によってまちまちだが、手が回らないというのが実情だと思われる。

幹 事 ひな形のようなものを配布したり、策定している市町村の情報を提供する等の支援しないと、ゼロからではなかなかできない。

事務局 ひな形等を渡しての支援は実施している。

幹 事 ひな形をもらっても策定後の仕組み（システム）を構築しないと取り組めない。
県は調達する部門、確認する部門があるからいいが、市町村では各部門で調達したり、一括して調達したりバラバラだと思う。
環境担当課と財政部門で策定後にどう運用していくか踏み込んでいかないとできない。

幹 事 現状の把握が大切だ。削減に成功している自治体は各部門でバラバラに調達ではなく、一括で調達している。
バラバラに調達すると在庫も多くなっていく。まずは、現状の把握と在庫等を減らしていくことから始めてはどうかと思う。

幹 事 マネジメントシステムををきちんと回していこうとすると人手や手間がかかるのは経験からよくわかるが、手間がかかるからやれないとせず、効果が上がると考えられる部分だけ取り入れる等、少しずつ実施すればいいと思う。

幹 事 自治体によっては職員の意識が高まったので取り組みを辞めたという所も出てきている。一番無駄の多い紙から始めるというのもいいのではないかと思う。

幹 事 エコアクション 21 事業者は事務用品でエコのマークが付いた物を買うというような簡単な取り組みを実践している。
エコアクション 21 取得事業者から調達すればグリーン購入になる

というように個々の製品ごとの判断を不要とし、簡素化しないといけないと思う。

4 協議事項

(1) 交通エコポイント活用社会還元事業について

交通エコポイント活用社会還元事業の原資は交通エコポイント及び高知県地球温暖化防止県民会議の会員等の寄付となっているが、平成 23 年度は県民会議会員に限定して協力を呼び掛けた。

平成 24 年度の募金呼びかけを行うにあたり、募金呼びかけ範囲を県民会議会員に加えて、エコアクション 21 認定企業にも拡大することを協議し、全会一致で、承認された。

(2) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金への申請事案について

県民部会提案事業「森林資源を活かす自然エネルギー学校」の申請書に基づき、内容を審査した。

以下の意見を反映する事を条件に、地球温暖化防止県民会議推進事業として補助金申請することが承認された。

○幹事よりの意見等

- ・間伐体験等のイベントで安全を担保するためにはかなりの人数が必要となってくるので、協力団体の活動費や参加者の傷害保険等の費用も積算して計上すべきである。
- ・広報の予算が計上されていないが、一般にも広報し参加募集を行うこと。

5 その他

次回幹事会の開催時期について

平成 24 年度の幹事会は 3 から 4 回の開催を予定しており、3 月は総会に付議する事項を審議するために開催するが、10 月、12 月の幹事会については、補助金申請があれば開催すること、開催日の 2 から 3 週間前に事務局が日程調整することを報告して閉会した。